押仲

高橋町会長題字

【祭礼御礼】

祭礼委員長　高橋邦夫

平成十八年は飛木稲荷神社の四年に一度の例大祭に当たり、町内の皆様には格別なる御奉納、ご理解、ご協力を賜りまして誠に有り難うございました。お蔭様にて盛大に祭典を執り行うことが出来ました。厚くお礼申し上げます。祭礼は四日間でしたが、一日目の神酒所建設の時は、小雨でしたが完成して宮司によって神酒所お祓いの時は晴天になり一気にお祭りモードが盛り上がりました。子供みこしはピカピカできれいになってとても気持ち良かったです。二日目祭礼おどり、三日目は鳳輦渡し、夜は祭礼模擬店、富くじ、演芸大会、四日目連合神輿と町内巡行天候にも恵まれ祭典が無事に出来ました事は、OST、婦人会、子供会、祭礼役員の皆様の一丸となってのご協力と、祭礼中のご活躍があったからでございます。誠にありがたく感謝いたしております。最後に町内の皆様の幸せとご健勝を祈念致しましてご挨拶とさせていただきます。有りがとうございました。

【婦人会】

祭礼奉仕の御礼

祭礼のお手伝いに役員の方々は、本当にご苦労様でした。

「総務」と「演芸」の担当でしたが、事前準備から後かたづけ、鉢洗いまでお疲れ様でした。

「総務」の仕事は、時間に追われて動かなくてはなりません。祭礼役員の皆様が快く動けるようにと表には出ませんが大変な仕事の一つだと思います。

「演芸」は、今年は、模擬店でフランクフルトの鉄板焼きと子供向けの簡単なゲームを出させていただきました。フランクフルトは、一〇〇本だけでしたが、一時間足らずで完売してしまいホットしました。結構、好評だったようです。事前に鉄板等、道具を準備していただいた方々、お手数をおかけいたしました。本当に有難うございました。

また、婦人会行事として、来年一月頃に「新年会」を予定しております。会員の皆様からご希望等ありましたら、お近くの役員に、何でもご連絡いただきましたら幸甚です。

押上一丁目仲町会広報部
編集責任者　五月女　稔
第三十号
平成十八年十月十六日

大人連合神輿

大人神輿町内巡行

大人神輿町内巡行

子供神輿町内巡行

祭礼踊り

鳳輦の巡行

【しらとり子供会】

夏休みに入ってすぐOSTの方々と共にラジオ体操を実施し子供たちは皆勤賞を目指し早起きをしました。また、廃品回収には子供達も一生懸命に手伝ってくれました。祭礼模擬店では町会の皆様、婦人会の方々のご協力により楽しく、スムーズに進める事が出来ました。

演芸大会

【婦人会・子供会】

第四金曜日（ビン、カンのみ）集団資源回収廃止のお願い

十月より墨田区では、「リサイクルを目的とした資源回収」を週一回集積所で回収することに改められます。

従来、当町会では、第二、第四金曜日に「集団資源回収」を行っておりますが、第四金曜日には、ビン、カンのみの回収のため、少量になることが予想されます。そこで十月より第四金曜日の回収は、廃止とさせていただきます。

なお、第二金曜日の「集団資源回収」は、今まで通りに行いますので、出来るだけ「集団資源回収」にご協力していただきますように宜しくお願い申し上げます。（これにリサイクル廃品を出しますと墨田区から報奨金が出ます）

【道南】

石田輝雄

青函海底トンネルが開通してから、吉岡海底駅の見学を第一に函館の夜景見物、そして北辺の城、松前城の見学を考えていた。家内は吉岡海底駅見学からのスケジュールを作成してくれた。上野駅東北新幹線ホームへやまびこ三十一号の客となる。盛岡着、ホーム反対側に停車中のはつかり三号に乗り換える。左窓外に岩手山を望む。青森着三分の待合せで、海峡七号に乗る（津軽線）。津軽今別を過ぎてから待望の青函海底トンネルに入る。吉岡海底駅到着（海底下一四五メートル）。見学は列車の時刻に合せて三通りあったが、私共は最長二時間余りのコースを選んだ。見学者の案内説明は木古内駅からの出向駅員。最長時間のコースなのに少しも永いと感じなかったのは、日本の先端技術の結果による大工事の成果をこの目で確認出来たからだろう。因みに青函海底トンネルは五三・八五㎞、見学を終り海峡九号に乗り一路函館に向かう。知内附近から青函海底トンネルを出る。やがて木古内に停車する以前は江差線と松前線の分岐点だったが、松前線の廃線で今は江差線の起点となっている。無事函館へ到着。駅前から今夜の宿とした函館山ホテル迄タクシー。チェックインを済ませてから直ぐに元町附近からの散策に出かける。先づは聖ヨハネ教会天主教会ハリストス正教会（此の建物は古くから函館のシンボルとして市民に親しまれている由で、重文鐘楼の鐘は東京お茶の水ニコライ堂に移された由）基坂を下る。右に旧イギリス領事館の建物市電通りを渡り、桟橋へ。赤レンガの建物が並んでいる金森倉庫群だ。嘗ては函館の物流基地として栄えた由だが、今は内部を改造して各種の店が入り建物の再活用ハシリになっている。高田屋嘉兵衛資料館前を通り右折二十間坂を上る。フランス料理の五島軒が左手に。此処で夕食をと思ったが、見物を優先。山麓駅から東洋一（一二五人乗り）と言うロープウェイで山頂駅へ。此の間三分展望台二階のレストランに入る。窓際の席に案内されて幸運ビールやワインが似合の雰囲気だがやはり御銚子をたのむ。食事を口に運ぶ頃、夜の帷はすっかり降り世界一と言われる末広がりの函館の街の夜景は正に宝石箱を覆えしたと言う形容詞そのもの。此のレストランで夕食を摂ったのは正に正解だった。観光客は一段と立て込んできた。ホテルへ戻り熱目のシャワーを浴び、早々に夢の国へ。翌朝は洗面もソコソコに外出直ぐ先の護国神社へ参拝。境内から望む函館港は見応えあり。朝日で撮るのが最高と聞いていた旧函館区公会堂をカメラに納める。元町公園の旧北海道庁函館支庁庁舎の建物を望む。之等の木造洋館や教会の建物はやはり何とも目を惹く。東本願寺函館別院に詣でてホテルへ戻り、チェックアウト。タクシーで立待岬へ一寸下車。鷲の囀りが頻り津軽海峡に突出している岬は見晴しが良く昔は、異国の船を監視する北方警備の台場が築かれていたと言う。函館駅前でタクシーを降りる。駅のロッカーへ荷物を預けてさあ之から函館の朝市へ。市場は青函連絡船が無くなってからも盛況である。市場内の食堂で朝食何とも旨くて安い。食後市場内の散策は楽しい思い出になった。通りへ出て市電に乗り五稜郭前下車。大通りを進むY字路を右へ。もう正面に五稜郭タワーが目に入る。入口には函館戦争で使われた大砲が飾られてあった。五稜郭はフランスやオランダの城郭を真似た五角型星型の特異な形をしており、周りを堀や石垣土塁等を築きどの方角からの射撃にも死角無く対応出来る様に築城されたものだとの事。展望台（高さ六十メートル）から見渡すと、五稜郭の全景は勿論遠近の景観を楽しむ事が出来た。見学を終えた頃、観光バスが何台も何台も到着。早く入場して良かった。大通りへ出てタクシーを拾いトラピスチヌ修道院へ。赤レンガ造り緑のトンガリ屋根の建物は西欧の古城を思わせる佇い。一八九八年フランスから派遣されたカトリックシトー会の八人の修道女が、此の地で祈祷と労働奉仕の自給自足の修道生活を始めて以来の事であると。湯の川団地北口バス停迄歩き。市営バスで函館駅へ戻る。駅構内のみかわ食堂で軽い昼食とする。少し時間があるのでタクシーで一走り外人墓地にお参り。函館に入港したアメリカのペリー艦隊の乗員二名が死亡した際葬むられたのが始まりで外国人墓地になった由。函館シーボートプラザへ立寄り係留されている青函連絡船だった摩周丸を見物。乗船した事のある家内は懐かしく満足の様子だった。さて之から松前城跡と桜見物の予定。函館発海峡十二号で木古内下車駅前から函館バスへ。雨が道路をぬらし始めた国道二二八号線を走る。左手は津軽海峡。晴天ならば定めし満足な風景であろうのに雨は本降り、視界全く不良。松前地区に入り、博多バス停到着。福八旅館に入る。（桜の時期の松前は何処の宿も満員、同業の有難い紹介で漸く福八に泊る事が出来たのだ）此の地では一番古い旅館の由。建物他は古いが夜具の手入も良く浴衣の確り何よりも親切第一。雨も上った翌日は桜花咲く松前城跡見学。八重桜が何とも見事。松前城天守閣は江戸末期（一八八五年）徳川幕府の命により築城されたもので、日本最后の和式城郭。松前の桜は嘗て本州から渡って来た、多くの商人や京の都から輿入した奥方等が郷里を偲ぼうと苗木を集めた事からと言われており、此の一帯には二五〇種八〇〇〇本の桜があると。帰途三浦屋と言う羊羹を商う老舗に寄り少々求め宿へ帰った。

【防火防災部】

二町会合同防火防災訓練のお知らせ

押上一丁目町会と当町会との合同防火防災訓練をつぎのとおり実施いたしますのでご連絡いたします。

一．実施日時　平成十八年十月二十九日（日）午前八時五十分～

二．集合場所　町会会館前　午前八時三十分

三．訓練場所（避難場所）避難誘導部長（町会交通部長）の指示で町会旗を先頭に避難場所（訓練場所）押上一丁目三十七番三号マコトビル様横路上へ移動する。

四．訓練開会式

五．訓練内容（次の訓練は、本所消防署および消防団の指導協力のもと、三～四班に分かれて班交代で二十分毎の輪番訓練／号笛合図で交代／になります）

①初期消火訓練　三角バケツ、クンレンダ、消火器による初期消火訓練

②応急救護訓練

イ．三角巾を活用した応急止血法、骨折措置法の訓練

ロ．応急担架を活用した担架の組立および搬送法の訓練

③救助訓練

イ．町会備え付けの簡易救助器具等を活用した救助訓練

ロ．鋸等を活用した破壊要領訓

ハ．本所消防署員または消防団員による救急救命の講習と実技演習

二．心肺蘇生法と体外式除細動器（AED）の実技演習

六．訓練閉会式

以上訓練終了時間は、十時三十分頃になる予定です。

【OST】

十月も半ば過ぎて涼しい日々になって参りました。OSTの皆様お元気でしょうか。先月の二十日には区の老人会のクリーンキャンペーンで十五名の方が参加してくださって町内をお掃除をして下さいました。又二十六日には輪投げ大会が区役所で行われて十名出場して、中村さんが午後の部で二位になり表彰されました。今月は十七日に歩け歩け大会が墨田区老人クラブ連合会主催であります。OSTで十一名出席します。水元公園に行きます。お天気が晴れるといいなあと思っております。二十九日には防火訓練が一丁目町会と合同で行われます。一人でも多くの方の御出席宜しく願い致します。十一月には二十二日に曳舟文化センターで映画をやります。お申し込みをおすましと思いますが「三丁目の夕日」という戦後の下町の映画だそうで楽しみに見に行きたいと思っております。どうぞOSTの会員の方達行事には一人でも多くの方々のご参加をお待ちしております。

俳句　秋の句四席　宇多子

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

地元の顔　皆出揃いて　秋祭り

狂いなく　年月は経ちて　秋終わる

新鮮な　外気取り入る　食堂の秋

全身の　冷たさに脅えつ　冬近し

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

【編集後記】

神酒所の設営と撤去の時だけは雨が降りましたが、他は珍しく天気に恵まれ、祭礼行事を全て予定通りに行う事が出来ました。今回は表面をカラーで発行します。ホームページに出ている写真は皆、笑顔で上機嫌なのですが、残念ながら新聞ではほんの一部しか掲載出来ません。せめて雰囲気だけでも伝わればと選びました。お祭りに対する考えは人それぞれで異なるでしょうが、一年に一度だけ、しかもわずか数日間ですが時間を共有する大切さは、お金では買えない貴重な財産です。またこの一年間苦労はしても、大きな災いも無く、無事に過ごせた人達しか『お祭りだ！』と騒いでいる余裕は無いでしょう。あまり良い事の無い昨今ですが、まだお祭りに加わる人達が多く住んでいる押上は、幸せな地域だと思います。さて、来年のお祭りは何をして遊びましょうか？